# れいわ ねんど 令和5年度

# たまししゅわげんごじょうれい かん あんけーとちょうさ 多摩市手話言語条例に関するアンケート調査

ほうこくしょ **報告書** 

れいわ ねん がつ **令和 6 年 1 月** たまし **多摩市** 

#### もくじ **目次**

だい しょう ちょうさ がいよう	
<u>第 1 章 調 査 の概 要</u>	1
1. <u>調査目的</u>	. 3
	. 3
ちょうさほうほう 3. <u>調査方法</u>	. 3
まんけっとひょうかいしゅうけっか 5. <u>アンケート 票 回 収結果</u>	
5. <u>/ ン / 宗 日 祝 明本</u> ほうこくしょ みかた 6. 報告書の見方	
	4
だい しょう ちょうさけっか <u>第</u> 2 <u>章 調査結果</u>	5
しみんむ あんけーと	
1. <u>市民向</u> け <u>アンケート</u>	
(1) <u>手話</u> の <u>認知度</u>	
(2) <u>手話が言語</u> であることを <u>知</u> っているか しゅわ ほうげん (3) <u>手話</u> に <u>方言</u> があることを <u>知</u> っているか	
(3) <u>手話</u> に <u>方言</u> があることを <u>知</u> っているか しゅわ くに ちが し (4) <u>手話</u> が <u>国</u> によって <u>違</u> うことを <u>知</u> っているか	
(4) <u>手話</u> が <u>国</u> にようて <u>選</u> つことを <u>知</u> っているが しゅわ ぶんぽう し (5) <u>手話</u> の <u>文法</u> を <u>知</u> っているか	
(5) <u>子前 の文法を知っているが</u> しゅわ かんしん (6) 手話 に関心があるか	
(8) <u>子前 に関心</u> があるが・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(7) <u>関心</u> かめる <u>埋田</u>	
(8) <u>関心</u> がない <u>生日</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(97 <u>〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜</u>	
(10) <u>コミューケーション</u> の <u>取り</u>	
(1 1 / 1 <u>1 日) と 1 - 1 / 1 日                            </u>	
(12) <u>1日</u> と <u>リー</u> ルルとと フス・アート しゅう じゅくど (13)手話 の習 熟 度	
(14) <u>今後手話</u> を <u>学 習</u> する <u>予定の有無</u>	
(15) <u>今後手話</u> を学習する予定がない <u>理由</u>	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
(17) 手話講 習 会 の認知度	
(18) <u>手話講習会</u> を <u>知った方法</u>	
い し そううしえんじぎょうりょうしゃ む しょ ん ゖ ー と 2. 意思疎通支援事業利用者向 けアンケート	

	(1) <u>聴 覚 障</u> がいがあるのはいつからか	25
	*** りょう たましい しそつうしえんじぎょう (2) <u>主</u> に <u>利用</u> している <u>多摩市意思疎通支援事業</u>	26
	しゅわ まな ほうほう (3) <u>手話</u> を <u>学</u> んだ <u>方法</u>	27
	しゅわいがい かいわ ほうほう (4) <u>手話以外</u> の <u>会話</u> の <u>方法</u>	28
	しゅゎ	
	(6) わからない理由	
	しゅわ がくしゅういこう (7)手話 の学 習意向	
	(8) <u>手話</u> の <u>勉 強</u> をしたくない <u>理由</u>	
	(9) 日常生活 を送るうえで使用したい機能やアプリ	
	(10) <u>実施</u> している <u>事業の認知度</u>	
	こ みゅに $t = 0$ は んじょう はいりょ $t = 0$ は んじょう はいりょ $t = 0$ の配慮について	
	$\frac{-1}{2}$ $\frac{-1}{2$	
2	、	
э.	しゅわつうやくれき	
	(1) <u>手話通訳歴</u> 1 かげつ しゅわつうやく ぎょうむりょう	
	(2) <u>1ヶ月</u> の <u>手話通訳の業務量</u>	
	(3) <u>無償</u> で <u>手話通訳の依頼の有無</u>	
	(4) <u>依頼</u> された <u>内容</u>	
	(5) <u>手話</u> を <u>学</u> んだ <u>方法</u>	
	(6) <u>手話</u> で <u>会話</u> するときに <u>困</u> ること	43
4.	. <u>手話サークル</u> 「 <u>クローバー</u> 」 <u>会 員向</u> け <u>アンケート</u>	44
	しゅわ きょうみ も (1) <u>手話</u> に <u>興味を持</u> ったきっかけ	44
	しゅわ しゅうじゅくど ていど (2) <u>手話</u> の <u>習 熟 度</u> の <u>程度</u>	46
	tolsia	47
	いらい ないよう (4) <u>依頼</u> された <u>内容</u>	47
	しゅわ まな ほうほう (5) <u>手話</u> を <u>学</u> んだ <u>方法</u>	48
		49
	しゅ カー かん おも (7)手話 に関してあればいいと思うもの	
5		
٠.	. <u>1 出口品 パーク に                                  </u>	
	(1) <u>子明日間来 例</u> の <u>思義について(0 <u>円</u>)</u>	
	(2) <u>励励</u> (5 <u>件</u> )	
	- ちょうかく <sub>しょ</sub> う しゃ いけん はんえい けん	
	(4) <u>聴 覚 障</u> がい <u>者</u> の <u>意見の反映</u> (5 <u>件</u> )	
	(5) <u>リーヒス</u> の <u>尤 夫</u> (4 <u>什</u> )	54

がっこうきょうログ しゅわ ふきゅう けん	
がっこうきょういく しゅり ふきゅう けん $(6)$ 学校教育 における手話の普及 $(4$ 件 $)$	. 55
しゅわ まな きかい けん (7) <u>手話</u> を <u>学ぶ機会</u> について(4 <u>件</u> )	. 55
<sub>じょうれい さくてい けん</sub> (8) わかりやすい <u>条 例</u> の <u>策定</u> (2 <u>件</u> )	. 55
がっこうきょういく しょうがい りかい そくしん けん (9) <u>学校教育</u> における <u>障 害の理解の促進</u> (2 <u>件</u> )	. 55
しゅわつうやくしゃ かんきょうせいび けん (10) <u>手話通訳者</u> の <u>環 境整備</u> (2 <u>件</u> )	
しんけん けん けん (11) 人権 について(2件)	
(12) <u>東京都</u> の <u>手話言語条 例</u> を <u>参考</u> について(2 <u>件</u> )	
(13) <u>防災</u> の <u>情 報 提 供</u> (1 <u>件</u> )	
(14) その <u>他</u> (3 <u>件</u> )	
しゅわ かん しさく いけん 6. <u>手話</u> に <u>関</u> する <u>施策</u> についての <u>意見</u>	
0. <u>子前 に関する爬泉についての息兄</u>	
(1) <u>手話 の音及について(13件)</u> ぃ しそつうしえん じゅうじつ けん (2) <u>意思疎通支援</u> の <u>充 実</u> (9 <u>件</u> )	
+*_ = = = +	
(3) <u>学校教育</u> について(8 <u>件</u> )	
(4) <u>手話講 習 会</u> について(8 <u>件</u> )	
(5) <u>共生社会</u> の <u>推進</u> (5 <u>件</u> )	
(6) <u>手話言語条 例</u> について(4 <u>件</u> )	
(7) <u>交流</u> について(3 <u>件</u> )	
(8) <u>災害時</u> の <u>支援</u> について(3 <u>件</u> )	. 61
(9) <u>障 害</u> の <u>理解</u> について(3 <u>件</u> )	. 61
$(10)$ デフリンピック (聴覚障がい者の国際スポーツ競技大会)について $(2\underline{\mu})$ .	. 61
(1 1) <u>激励</u> (2 <u>件</u> )	. 62
(12) <u>交通費</u> の <u>支払</u> い <u>方法</u> について(2 <u>件</u> )	. 62
(13) その <u>他</u> (1 <u>件</u> )	. 62
だい しょう ちょうさひょう	
<u>第3章 調査票</u>	63
しみんむ あんけーと 1. <u>市民向</u> け <u>アンケート</u> い しそつうしえんじぎょうりようしゃむ あんけーと	. 65
ぃ し そつうしえんじぎょうりょうしゃむ	
しゅわつうやくしゃ む   あ ん け 一 と	
	. 14
4. 手話サークル「クローバー」会 員向けアンケート	. 10

だい しょう ちょうさ がいよう **第1章 調査の概要** 

#### ちょうさもくてき **1. 調査目的**

多摩市では手話に対する理解の促進及び手話を使用しやすい環境づくりに関する基本理念を定め、障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に寄与することを目的として「(仮称)多摩市手話言語条例」の制定に向けて取り組みを進めています。この調査は、「手話」に対する意識調査を行うことで、条例制定にあたり参考とさせていただくために実施します。ご意見は条例制定の検討にあたり、多摩市手話言語条例検討会で活用するとともに、今後市が取組を進める上での貴重な資料となります。

### **2. 実施期間**

市民向けアンケート 令和5年10月13日(金)~11月 2日(木) 上記以外のアンケート 令和5年10月20日(金)~11月17日(金)

### 3. 調査方法

- (1)郵送による回答(同封の返信用封筒に入れてポストに投函)
- (2)電子入力フォームによる回答

#### 5ょうさ たいしょうしゃ 4. 調査の対象者

市民向けアンケート	たましまします。 多摩市にお住まいの方から無作為抽出
いしそつうしぇんじぎょうりょうしゃむ 意思疎通支援事業利用者向け ぁんゖーと アンケート	た ま し い し ₹ つ う し えんじぎょうりょうしゃとうろく 多摩市意思疎通支援事業利用者登録をしている方
しゅねつうゃくしゃむ あんけーと 手話通訳者向けアンケート	たましとうろくしゅわっうやくしゃ 多摩市登録手話通訳者
しゅりさーくる くっ ばー かいいか 手話サークル「クローバー」会員 む あんけーと 向けアンケート	たまししゅわさーくる くぅーぱー かいいん たましとうろくつうやくしゃ のぞ 多摩市手話サークル「クローバー」会員(多摩市登録通訳者を除く さーくぁぃゟ サークル員)

### だい しょう ちょうさ がいよう 第1章 調査の概要

# まんけーとひょうかいしゅうけっか 5. アンケート票回収結果

市民向けアンケート	
い しそつうしぇんじぎょうりょうしゃむ 意思疎通支援事業利用者向け ぁんけーと アンケート	「はっさたいしょうしゃ にん
しゅわつうやくしゃむ ぁんゖーと手話通訳者向けアンケート	おようさたいしょうしゃ     調査対象者: 36人     調査対象者: 28人     回収数者: 28人     「郵送:15人 Web:13人)     かいしゅうりっ     回収率:77.8 % (郵送:41.7 % Web:36.1 %)
しゅりさーくる くぅーばー かいいん 手話サークル「クローバー」会員 む あんけーと 向けアンケート	おようさたいしょうしゃ     調査対象者: 51人     加工

# 6. 報告書の見方

- この報告書は、次のように記載されています。

  ひゅう すべ ひゃくぶんりつ あらわ しょうすうてん いっか だい いっししゃ ごにゅう ざんしゅつ

  ひゃくぶんりつ となく このため、百分率 の合計が100 % にならない場合があります。
- ・ 1人の回答者が複数回答する設問では、比率の合計が 100 % を上回ることがあります。

だい しょう ちょうさけっか 第2章 調査結果

# 1. 市民向けアンケート

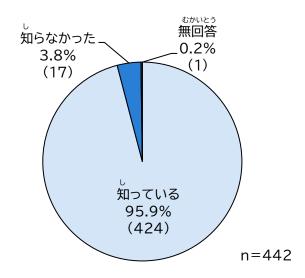
# (1) 手話の認知度

問1 あなたは手話というコミュニケーションを知っていますか。



チ話というコミュニケーションの認知度は、95.9 %

ずひょう しゅわ にんちど たんすうかいとう 図表 1 手話の認知度 (単数回答)



手話の認知度について聞いたところ、「知っている」は 95.9 %、「知らなかった」は 3.8 % となっている。

### だい しょう ちょうさけっか しみんむ あんけーと第2章 調査結果〔1.市民向けアンケート〕

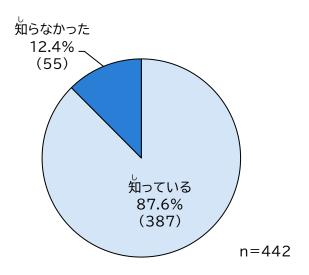
# (2) 手話が言語であることを知っているか

問2 あなたは手話が言語であることを知っていますか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

#### <sup>しゅゎ</sup> 手話が言語であることを「知っている」方は、87.6 %

プロよう といまり げんご 図表 2 手話が言語であることを知っているか (単数回答)



手話が言語であることを知っているかを聞いたところ、「知っている」は  $87.6^{\frac{i\pi-tt\lambda L}{9}}$ 、「知らなかった」は  $12.4^{\frac{i\pi-tt\lambda L}{9}}$ となっている。

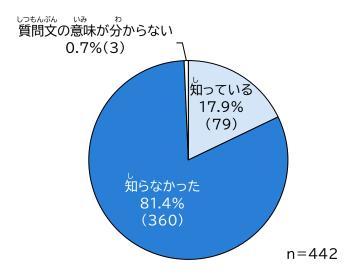
# (3) 手話に方言があることを知っているか

問3 あなたは手話にも方言があることを知っていますか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

手話に方言があることを「知っている」方は、17.9 %

gto si と pp に ほうげん 図表 3 手話に方言があることを知っているか (単数回答)



手話に方言があることを知っているかを聞いたところ、「知らなかった」は 81.4 %、「知っている」は 17.9 %、「質問文の意味が分からない」は 0.7 % となっている。

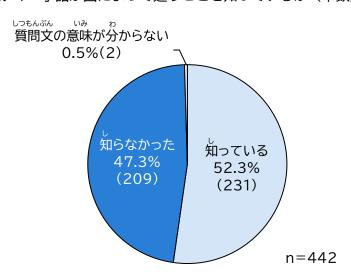
#### だい しょう ちょうさけっか しみんむ あんけーと 第2章 調査結果〔1. 市民向けアンケート〕

### (4) 手話が国によって違うことを知っているか

問4 あなたは手話が万国共通ではなく、国によって違うことを知っていますか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

goki 4 手話が国によって違うことを知っているか(単数回答)



手話が国によって違うことを知っているかを聞いたところ、「知っている」は 52.3 %、「知らなかった」は 47.3 %、「質問文の意味が分からない」は 0.5 % となっている。

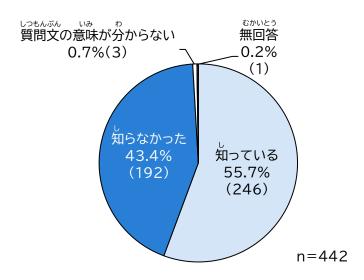
### (5) 手話の文法を知っているか

問5 あなたは手話が手の動きだけではなく、身体の向きや頭の動き、顔の表情によって、文法が作られていることを知っていますか。



しゅゎ 手話が手の動きだけではないことを「知っている」方は、55.7 %

型表 5 手話の文法を知っているか(単数回答)



手話の文法を知っているかを聞いたところ、「知っている」は 55.7 % 、「知らなかった」は 43.4 ぱーせんと 「質問文の意味が分からない」は 0.7 % となっている。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅんむ ぁんけーと 第2章 調査結果〔1.市民向けアンケート〕

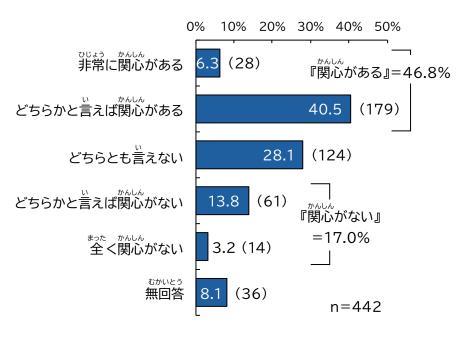
### (6) 手話に関心があるか

こ。 問6 あなたは手話について関心がありますか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

#### しゅゎ 手話に『関心がある』方は、46.8 %

図表 6 手話に関心があるか(単数回答)



手話に関心があるかを聞いたところ、「非常に関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合わせた『関心がある』の割合は 46.8 %、「全く関心がない」と「どちらかと言えば関心がない」を合わせた『関心がない』の割合は 17.0 % となっている。

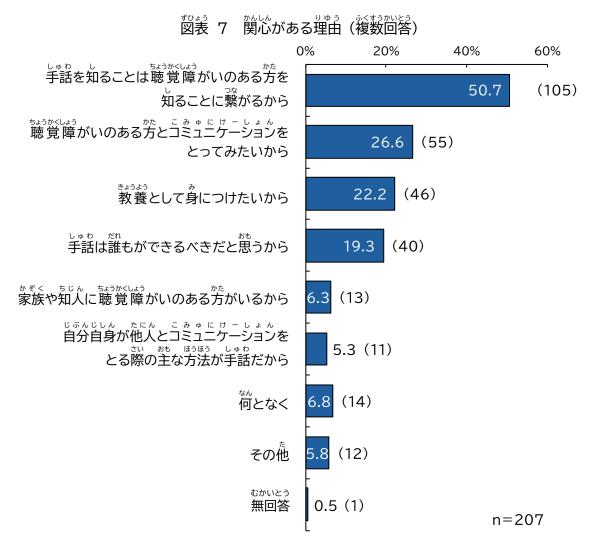
「どちらとも言えない」は 28.1 % である。

### (7) 関心がある理由

で「非常に関心がある」または「どちらかと言えば関心がある」と回答された方に 質問です。

といっての現由として当てはまるものを次の中から全て選んでください。

けっか 結果の ぽぃんと ポイント 『関心がある』理由の上位2位は、



『関心がある』と回答した方に、その理由について聞いたところ、「手話を知ることは聴覚障がいのある方を知ることに繋がるから」50.7%が最も高く、次いで「聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとってみたいから」26.6%、「教養として身につけたいから」22.2%、「手話は誰もができるべきだと思うから」19.3%の順となっている。

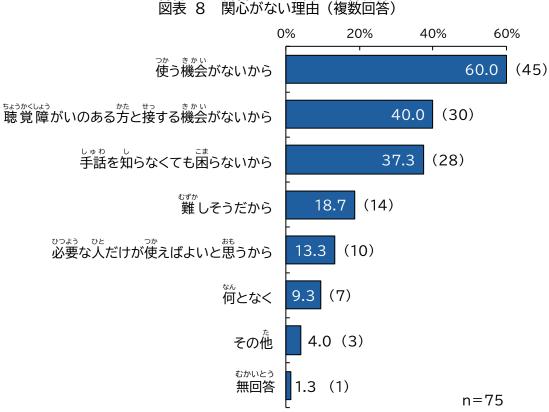
#### まょうさけっか しみんむ あんけっと 調査結果〔1.市民向けアンケート〕

### (8) 関心がない理由

こ。 問6で「全く関心がない」または「どちらかと言えば関心がない」と回答された方に質問 です。

その理由として当てはまるものを次の中から全て選んでください。 問8

<sub>けっか</sub> 結果の ポイント 『関心がない』理由の上位3位は、「使う機会がないから」60.0 %、「聴覚障が いのある方と接する機会がないから」40.0%、「手話を知らなくても困らな いから」37.3 %



かんしん 関心がない理由(複数回答)

『関心がない』と回答した方に、その理由について聞いたところ、「使う機会がないから」60.0 % が最も高く、次いで「聴覚障がいのある方と接する機会がないから」40.0 % 、「手話を知らなくて も困らないから」37.3 %、「難しそうだから」18.7 %、「必要な人だけが使えばよいと思うから」 13.3 % の順となっている。

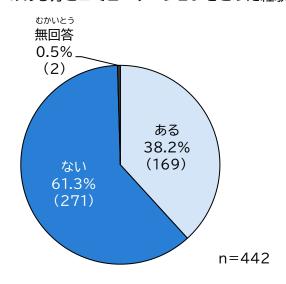
いっぽう なん 一方、「何となく」は 9.3 % となっている。

- (9) 聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとった経験
  - 問9 あなたは、これまでに聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとった、または とろうとした経験はありますか。



こ みゅに ゖー しょん コミュニケーションをとった・とろうとした経験が「ある」方は、38.2 %

図表 9 聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとった経験(単数回答)



#### だい しょう ちょうさけっか しみんむ ぁんけっと 第2章 調査結果〔1.市民向けアンケート〕

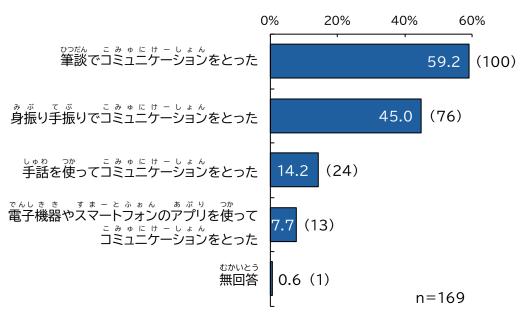
### (10) コミュニケーションのとり方

問9で聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとったことがあると回答した方に質問です。

問10 どのようにコミュニケーションをとりましたか。

けっか **結果の** ぽぃんと **ポイント**  コミュニケーションの取り方の第1位は「筆談」59.2 % 「手話」でのコミュニケーションは 14.2 %

プロスタットに サー しょん かた ふくすうかいとう 図表 10 コミュニケーションのとり方 (複数回答)



こみゅにけーしょん コミュニケーションのとり方について聞いたところ、「筆談でコミュニケーションをとった」59.2 % が最も高く、次いで「身振り手振りでコミュニケーションをとった」45.0 %、「手話を使ってこみゅにけーしょん コミュニケーションをとった」14.2 %、「電子機器 や スマートフォンの アプリ を 使ってこみゅにけーしょん コミュニケーションをとった」7.7 %となっている。

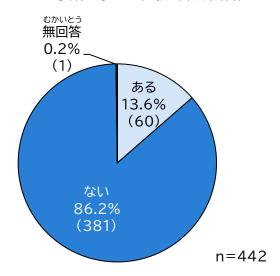
# (11) 手話を学んだ経験

問11 あなたは手話を学んだ経験がありますか。



#### しゅゎ まな けいけん 手話を学んだ経験が「ある」方は 13.6 % にとどまっている

図表 11 手話を学んだ経験(単数回答)



しゅ カー まな けいけん き 手話を学んだ経験を聞いたところ、「ある」は 13.6%、「ない」は 86.2%となっている。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅんむ ぁんゖーと 第2章 調査結果〔1. 市民向けアンケート〕

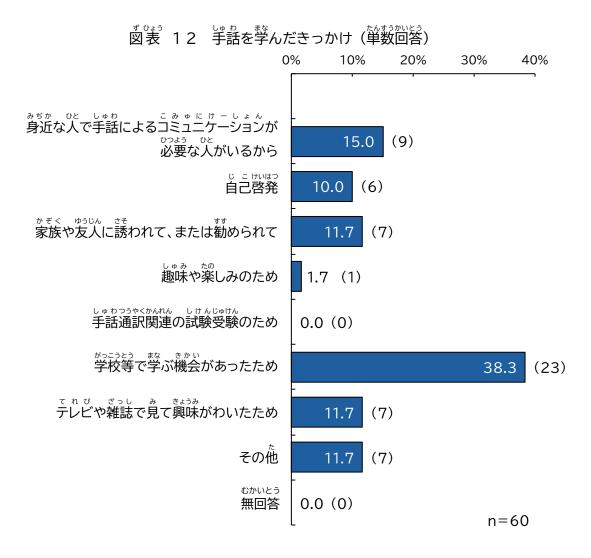
### (12) 手話を学んだきっかけ

問11で「ある」を選んだ方に質問です。

問12 そのきっかけは何でしたか。ご自身の中で最も大きなきっかけになったものを選ん でください。

#### けっか 結果の <sup>ぽ ぃ んと</sup> ポイント

手話を学んだ最も大きなきっかけの第1位は、「学校等で学ぶ機会があったため」38.3 %



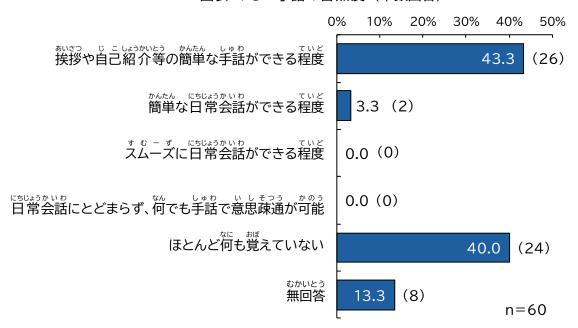
手話を学んだきっかけについて聞いたところ、「学校等で学ぶ機会があったため」38.3 % が最も高く、次いで「身近な人で手話によるコミュニケーションが必要な人がいるから」15.0 % 、「家族や友人に誘われて、または勧められて」「テレビや雑誌で見て興味がわいたため」「その他」がともに11.7 % 、「自己啓発」10.0 % の順になっている。

### (13) 手話の習熟度

だい 問11 で「ある」を選んだ方に質問です。 とい 問13 あなたの手話の習熟度はどのくらいですか。

けっか 結果の ぽぃんと ポイント 手話を学んだことがある方の習熟度は、「挨拶や自己紹介等」程度が 43.3 %、「ほとんど何も覚えていない」方も 40.0 % いる

図表 13 手話の習熟度(単数回答)



手話の習熟度を聞いたところ、「挨拶や自己紹介等の簡単な手話ができる程度」43.3 % が最もたかできるく、次いで「ほとんど何も覚えていない」40.0 % 、「簡単な日常会話ができる程度」3.3 % となっている。

#### だい しょう ちょうさけっか しみんむ あんけーと 第2章 調査結果〔1.市民向けアンケート〕

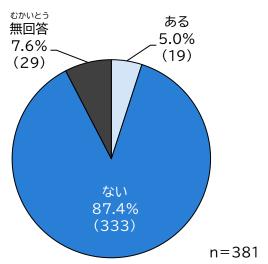
# (14) 今後手話を学習する予定の有無

問11 で「ない」と回答された方に質問です。 には、こんごしゅわ がくしゅう まてい 問14 今後手話を学習する予定はありますか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

### 手話を学んだ経験がなく、さらに今後も予定が「ない」方は87.4 %

図表 14 今後手話を学習する予定の有無(単数回答)



う後手話を学習する予定の有無について聞いたところ、「ある」は 5.0 % 、「ない」は 87.4 % となっている。

### (15) 今後手話を学習する予定がない理由

はまか **結果の** まいんと ポイント

まな けいけん りゅう こか きかい 手話を学んだ経験がない理由は、「手話を使う機会がない」53.5 % が最も高い

0% 20% 40% 60% しゅゎ つか きかい 手話を使う機会がない 53.5 (178)<sup>むずか</sup> 難 しそう 32.4 (108)がくしゅう 学習する時間がない 27.0 (90)とこで学べばよいかわからない (87)26.1 きょうみ かんしん 興味・関心がない 12.3 (41)がつどうなかま 活動仲間がいない 12.3 (41)その他 10.8 (36)むかいとう 無回答 0.3 (1) n = 333

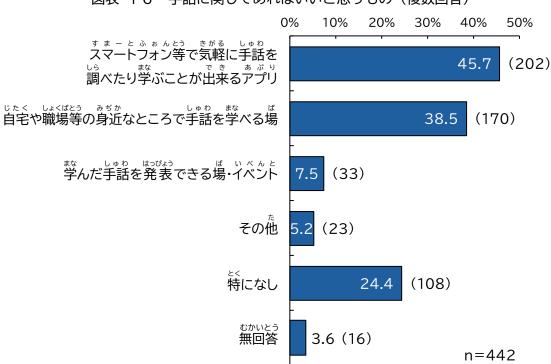
gto まう う後手話を学習する予定がない理由(複数回答)

今後手話を学習する予定がない理由について聞いたところ、「手話を使う機会がない」53.5 % が最も高く、「難しそう」32.4 %、「学習する時間がない」27.0 %、「どこで学べばよいかわからない」26.1 % の順となっている。

### だい しょう ちょうさけっか しみんむ ぁんゖーと第2章 調査結果〔1.市民向けアンケート〕

### (16) 手話に関してあればいいと思うもの

けっか 結果の ぽぃんと ポイント 手話に関してあればいいと思うものの第1位は「気軽に調べたり学ぶことが出来る アプリ」45.7%、第2位は「身近なところで学べる場」38.5%



ずひょう 16 手話に関してあればいいと思うもの(複数回答)

手話に関してあればいいと思うものについて聞いたところ、「スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリ」45.7 % が最も高く、次いで「自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場」38.5 % 、「学んだ手話を発表できる場・イベント」7.5 % 、「その他」5.2 % となっている。

ー方、「特になし」が 24.4 % となっている。

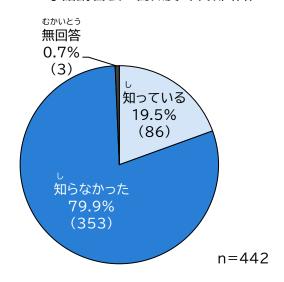
# (17) 手話講習会の認知度

問17 多摩市では手話講習会を実施しています。知っていますか。

ままり 結果の ぽぃんと ポイント

市の手話講習会の認知度は 19.5 % にとどまっている

野では、17 「手話講習会の認知度(単数回答)



手話講習会の認知度を聞いたところ、「知っている」は 19.5 %、「知らなかった」は 79.9 % となっている。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅんむ ぁんけーと 第2章 調査結果〔1. 市民向けアンケート〕

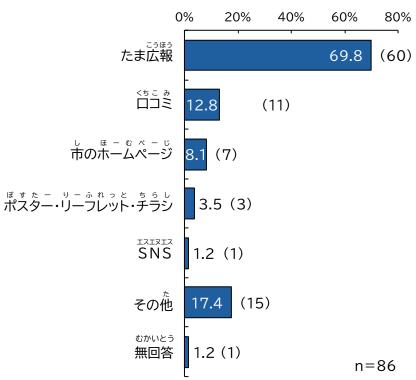
# しゅわこうしゅうかい し ほうほう (18) 手話講習会を知った方法

問17 で「知っている」と回答された方に質問です。
じゅわこうしゅうかい そんざい しゅわこうしゅうかい そんざい じゅわこうしゅうかい そんざい しりましたか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

手話講習会を知った方法の第1位は、「たま広報」69.8 %

ずひょう 図表 18 手話講習会を知った方法(複数回答)



手話講習会を知った方法について聞いたところ、「たま広報」69.8 % が最も高く、次いで「そのた」17.4 %、「口コミ」12.8 %、「市のホームページ」8.1 % の順となっている。

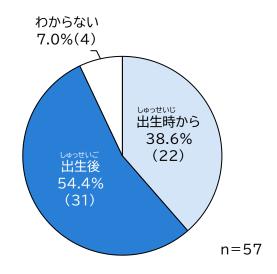
# 2. 意思疎通支援事業利用者向けアンケート

### (1) 聴覚障がいがあるのはいつからか

問1 聴覚に障がいがあるのはいつからですか。

けっか **結果の** ぽぃんと ポイント 聴覚障がいがあることがわかったのは、「出生時から」が 38.6 %、 「出生後」が 54.4 %

ずひょう 図表 19 聴覚障がいがあるのはいつからか (単数回答)



聴覚障がいがあるのはいつからかを聞いたところ、「出生後」は 54.4%、「出生時から」は 38.6%、「わからない」は 7.0%となっている。

「出生後」と回答した方の年齢の内訳と平均年齢は、以下の通りとなっている。

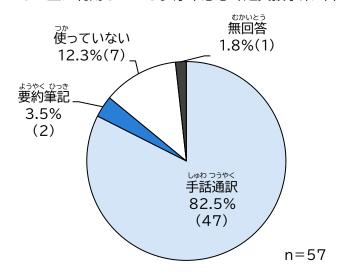
	かいとうしゃすう
0歳	3
1歳	6
2歳	
2.5歳	2
3歳	3
3.5歳	1
<b>4歳</b>	1
5歳	1
6歳	1

	かいとうしゃすう 回答者数
10歳	1
15歳	1
52歳	1
55歳	1
58歳	1
63歳	1
75歳	1
むかいとう 無回答	2
ごうけい 合計	31
平均	12.9歳

- だい しょう ちょうさけっか いし そつうしえんじぎょうりょうしゃむ あんけーと第2章 調査結果〔2.意思疎通支援事業利用者向けアンケート〕
  - (2) 主に利用している多摩市意思疎通支援事業
    - 問2 あなたは多摩市意思疎通支援事業のうち、手話通訳・要約筆記のどちらを主に利用 していますか。(該当するものを1つ○で囲んでください)

結果の ぽぃんと ポイント

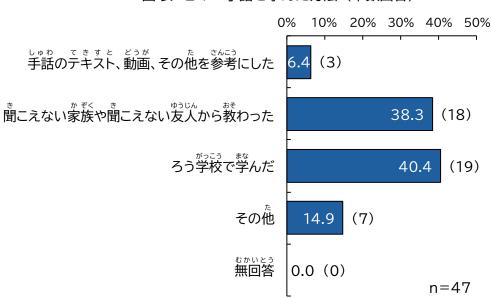
また りょう い しそつうしぇんじぎょう しゅわつうゃく ぱーせんと もっと たか 主に利用している意思疎通支援事業は「手話通訳」82.5 % が最も高い



主に利用している多摩市意思疎通支援事業について聞いたところ、「手話通訳」は 82.5 %、 「要約筆記」は 3.5 %、「使っていない」は 12.3 % となっている。

# (3) 手話を学んだ方法

けっか **結果の** ぽぃんと **ポイント**  手話を学んだことがある方のその方法は、「ろう学校」40.4 %、「聞こえない家族や聞こえない友人から教わった」38.3 % でともに約4割



 す ひょう

 図表 21 手話を学んだ方法(単数回答)

手話を学んだ方法について聞いたところ、「ろう学校で学んだ」40.4 % が最も高く、次いで「聞こえない家族や聞こえない友人から教わった」38.3 % 、「その他」14.9 % 、「手話のテキスト、動が、その他を参考にした」6.4 % となっている。

### た ないよう (その他の内容)

- 養護学校。
- 手話サークル。
- 手話講習会。
- 講習会。
- ろう運動を学んだ。

### たい しょう ちょうさけっか いしそつうしえんじぎょうりょうしゃむ あんけーと第2章 調査結果〔2.意思疎通支援事業利用者向けアンケート〕

### (4) 手話以外の会話の方法

問4 手話以外の会話(対面でお話しする場合)の方法を教えて下さい。

(一番利用するものを1つ○で囲んでください)

けっか **結果の** ぽいんと ポイント チ話以外の会話方法は、「筆談・スマホやタブレット等の電子機器」59.6 % でゃくらわり 約6割

0% 20% 40% 60% 身ぶり手ぶり 36.2 (17)ひつだん すまほ たぶれっとなど でんしきき 筆談・スマホやタブレット等の電子機器 59,6 (28)その他 4.3(2)むかいとう 無回答 0.0(0)n = 47

図表 22 手話以外の会話の方法(単数回答)

手話以外の会話の方法について聞いたところ、「筆談・スマホやタブレット等の電子機器」59.6 ばせんと もっと たか っ っ っ っ で が最も高く、次いで「身ぶり手ぶり」36.2 % 、「その他」4.3 % となっている。

# 〔その他の内容〕

- 口話。
- こうね ひつだん つう口話、筆談など通じれば。

### (5) 手話がわかるか



がいとうしゃ 回答者において、要約筆記を利用している方で手話が「わからない」方はいない

0% 20% 40% 60% 0.0(0)わかる だいたい 大体わかる 50.0 (1)<sup>すこ</sup> 少しはわかる 50.0 (1)わからない 0.0 (0) むかいとう 無回答 0.0(0)n=2

図表 23 手話がわかるか (単数回答)

手話がわかるかを聞いたところ、「大体わかる」は 50.0 %、「少しはわかる」は 50.0 % となっている。

### (6) わからない理由

手話が「わからない」方が0人のため、回答はない。

#### だい しょう ちょうさけっか いしそつうしえんじぎょうりょうしゃ む あんけーと 第2章 調査結果〔2.意思疎通支援事業利用者向けアンケート〕

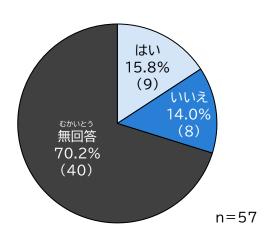
# (7) 手話の学習意向

問7 これから手話を学ぶ機会があれば手話の勉強をしたいと思いますか。 (該当するものを1つ○で囲んでください)

けっか 結果の ぽぃんと ポイント

#### しゅゎ がくしゅういこう ぱーせんと ひく 手話の学習意向は 15.8 % と低い

野のよう 24 手話の学習意向 (単数回答)



手話を勉強したいかを聞いたところ、「はい」は 15.8 %、「いいえ」は 14.0 % となっている。 はかいとう (無回答」が 70.2 % と高い割合となっているが、「わからない」という回答が含まれていると推測できる。

## (8) 手話の勉強をしたくない理由

問7で「いいえ」と答えた方に質問です。 <sup>とい</sup> 問8 その理由を教えてください。

- 今でもろう者と会話しながら手話を全て身につけます。
- 今まで、先輩と同輩、友人とも手話を使えていますから、身につけています。
- 78才からでは遅い。
- 私は、もう70歳になるので自己流手話をしています。標準手話・通訳者と通じますから!! 若ければ手話を学ぶ機会あるけれど、もう歳だから。
- 仕事を持っているので、手話を指導する時間がありません。
- 大会等の参加多数の為。
- 会社/自動車など病院の専門知識(単語とか)が習得してほしい。

#### だい しょう ちょうさけっか いしそつうしえんじぎょうりょうしゃむ あんけっと 第2章 調査結果〔2.意思疎通支援事業利用者向けアンケート〕

- (9) 日常生活を送るうえで使用したい機能やアプリ
  - 世間9 スマホやタブレット等の電子機器をお使いの方に質問です。日常生活を送るうえで、どのような機能やアプリをお使いですか。わかる範囲で教えてください。
    - 「こえとら」(音声認識技術や音声合成技術を活用することにより、聴障者と健聴者とのスムーズ なコミュニケーションを支援する)スマートフォンアプリ機能を使っている。
    - UDトーク、音声を字で表す。
    - UDトーク。
    - UDトーク及びYY Probe。
    - 「UDトーク」「YY文字起こし」(音声を文字に変換するアプリ)。
    - YY文字起こしというアプリ
    - YY文字起こし。

    - 音声を文字に変換するアプリ。
    - 音声を文字に変換。
    - 音声文字変換アプリ。
    - 文字化アプリ。

    - 音声認識アプリを使う。
    - 健聴者からは音声→文字変換アプリを使う。
    - 音声認識アプリ(相手から話してもらうとき)。
    - 電話リレーサービス及び遠隔手話通訳サービス。
    - でんわりれーさー びす りょう けんちょう みうち ゆうじん ためふかけっ
       電話リレーサービスの利用(健聴の身内と友人がいない為不可欠)。
    - ペイントなど。
    - フリーボード、Vosual。
    - 電子ボードも便利で使用する事も多い。
    - メモ機能(自分から見せる場合)。
    - メモ機能、LINE、メール、こえとらアプリ。
    - めもきのう めもぱっとメモ機能、メモパッド。
    - メモ機能、文字画面。
    - メモ機能。
    - メモ機能。
    - メモ機能。
    - メモ機能で書いてもらう。
    - メモ機能を使って言いたいことを文字にして見せる方法。
    - メモ機能を使って文字を見せる。
    - 私からはメモ機能。

- サラガめん 文字画面。
- 文字画面を見せ合う。
- 文字画面を見せ合うメモ機能【ブギーボード】。
- 文字画面を見せ合う。
- 文字を打って見せる。
- アプリ筆談メモ。
- たぶれっと じゅうよう タブレットなど重要。
- らいん LINEなどのライブ通話。
- <sup>₹ t</sup> Zoom.
- つうしん にゅっす あぶり しょう とうがしちょう 通信、ニュースやアプリを使用しての動画視聴。
- らいんめーるラインメール。
- たであった。 らいん ほう すむーず めっる いそ かのう 急ぎメールはラインの方がスムーズ。メールは急ぎ可能ではない。ラインアプリをお願いします。
- つまで電話で伝えていたこと等、スマホのラインやメールで伝え合っている。電話が使えないので、 たんげんかんけい うせ かも いま すま ほ かたし いちぶ 人間関係が薄れてしまったように思う。今やスマホは私の一部となっています。

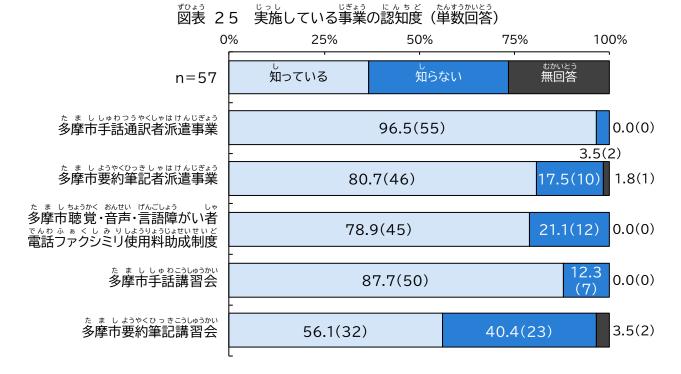
#### だい しょう ちょうさけっか いしそつうしえんじぎょうりょうしゃむ ぁんゖーと第2章 調査結果〔2.意思疎通支援事業利用者向けアンケート〕

### (10) 実施している事業の認知度

(それぞれ該当するものを○で囲んでください)

#### けっか 結果の ぽぃんと ポイント

市が実施している意思疎通支援事業の認知度は、「多摩市手話通訳者派遣事業」は 場合している意思疎通支援事業の認知度は、「多摩市手話通訳者派遣事業」は 96.5 % であるが、「要約筆記講習会」が 56.1 % と低い



多摩市手話通訳者派遣事業の認知度について、「知っている」は 96.5 % 、「知らない」は 3.5 ぱーせんと % である。

を ましょうやくひっきしゃはけんじぎょう にんちど 多摩市要約筆記者派遣事業の認知度について「知っている」は 80.7 % 、「知らない」は 17.5 ぱーせんと % である。

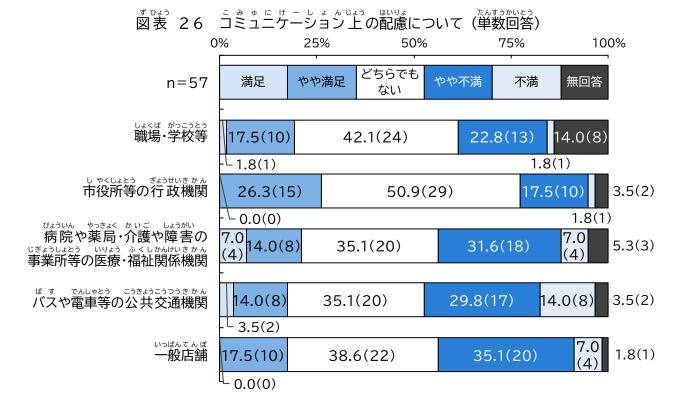
を ましまえかく おんせい げんごしょう しゃでんわ ふ ま くしみ りしょうりょうじょせいせいど にん ち ど 多摩市聴覚・音声・言語障がい者電話ファクシミリ使用料助成制度の認知度について「知っている」は 78.9 %、「知らない」は 21.1 % である。

を書していることはあるこうしゅうかい にんちど 多摩市手話講習会の認知度について「知っている」は 87.7 % 、「知らない」は 12.3 % である。 を書しようやくひっきこうしゅうかい にんちど 多摩市要約筆記講習会の認知度について「知っている」は 56.1 % 、「知らないは」40.4 % である。

# (11) コミュニケーション 上 の配慮について

世間11 社会生活の場面で、聴覚障がい者に対するコミュニケーション上の配慮 (手話・単談・字幕など音声以外のコミュニケーション対応) についてどのように感じますか。(それぞれ該当するものを〇で囲んでください)

#### まっか 結果の ぽぃんと ポイント



こみゅりにサーション上の配慮について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合 かまった たか いのは、市役所等の行政機関で 26.3 % となっている。「やや不満」と「不満」を合わせた まん わりあい もった たか は、す でんしゃとう こうきょうこうつうきかん ばーせんと わり でイ割となっている。

5つの項目の中で、「満足」の割合が最も高いのは、病院や薬局・介護や障害の事業所等の医療・ 福祉関係機関7.0%、「やや満足」の割合が最も高いのは、市役所等の行政機関26.3%、「どちらでもない」の割合が最も高いのは、市役所等の行政機関50.9%、「やや不満」の割合が最も高いのは、市役所等の行政機関50.9%、「やや不満」の割合が最もない。 高いのは、一般店舗35.1%、「不満」の割合が最も高いのは、バスや電車等の公共交通機関14.0%となっている。

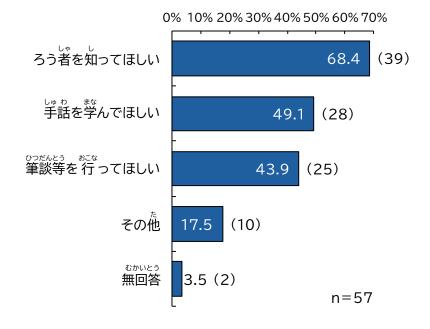
#### だい しょう ちょうさけっか いしそつうしえんじぎょうりょうしゃむ あんけっと 第2章 調査結果〔2.意思疎通支援事業利用者向けアンケート〕

#### こ み ゅ に ゖ ー し ょ んじょう はいりょ (12) コミュニケーション 上 で配慮してほしいと思うこと

問12 健聴者とのコミュニケーション上で感じること、配慮してほしいと思うことがあれ は教えてください。(該当するものを全て〇で囲んでください)

けっか **結果の** ぽぃんと ポイント 意思疎通支援事業利用者がコミュニケーション上で配慮してほしいと思うことは「ろう者を知ってほしい」68.4 % が最も高い「手話を学んでほしい」「筆談を行ってほしい」は4割台

変える。 ころ カード ローション上で配慮してほしいと思うこと (複数回答)



コミュニケーション上で配慮してほしいと思うことについて聞いたところ、「ろう者を知ってほしい」 ぱーせんと もっと たか っっ しゅっと まな はーせんと が最も高く、次いで「手話を学んでほしい」49.1 %、「筆談等を行ってほしい」43.9 ぱーせんと たってんとう %、「その他」17.5 % となっている。

## 〔その他の内容〕

- できれば滑舌よくはっきりと(明確に)ゆっくり話をしてほしい。
- ゆっくり声を出してほしい、大きな声でなくてもよい(補聴器使用)。
- 話す場合は、口元をゆっくり話して欲しい。
- 危険なところで助けてほしい。
- こちらからお願いすれば皆さん協力して下さる。
- 常に、共に活動して深めたらと思う。
- 話しがわからなくて耳が不自由と伝えると、いやな又は変な顔をされるのもしばしば。
- ただ手話を覚えるだけでなく、ろう文化も知ってほしいです。
- ろう文化を知ってほしい。(ろう者の生活様式など)一度耳栓等して生活をしてみるなど実体験をしてみてほしい。

### だい しょう ちょうさけっか しゅわつうやくしゃ む あんけーと 第2章 調査結果〔3.手話通訳者向けアンケート〕

# 3. 手話通訳者向けアンケート

# (1) 手話通訳歴

問1 手話通訳歴はどのくらいですか。



かいとうしゃ しゅ カフラやくれき 回答者の手話通訳歴は1~29年の間で、平均12.1年

ずひょう しゅ わつうゃくれき 図表 28 手話通訳歴

	かいとうしゃすう 回答者数
1年	2
2年	1
3年	2
<sup>ねん</sup> 4年	1
7年	1
9年	2
10年	3
11年	1
12年	4
15年	1
17年	1
21年	1
26年	2
28年	1
29年	1
<sub>むかいとう</sub> 無回答	4
ごうけい 合計	28
へいきん 平均	12.1年

回答者の手話通訳歴は、1年から29年の間で、平均は12.1年となっている。

#### 1 か げっ しゅわつうゃく ぎょうむりょう (2) 1 ケ月の手話通訳の業務量

問2 1ヶ月にどの程度、業務として手話通訳を行っていますか。(おおよその数字で 結構です)



かいとうしゃ かげつ しゅわつうやく ぎょうむりょう へいきん つき じかん 回答者の1ヶ月の手話通訳の業務量の平均は、月に4.8時間

図表 29 1ヶ月の手話通訳の業務量

	かいとうしゃすう 回答者数
の時間/月	1
じかん つき <b>1時間/月</b>	3
2時間/月	6
3時間/月	2
じかん つき 4時間/月	4
5時間/月	1
じゅん つき 6時間/月	2
7時間/月	1
8時間/月	1
10時間/月	1
15時間/月	1
20時間/月	1
むかいとう 無回答	4
ごうけい <b>合計</b>	28
平均	4.8時間/月

かいとうしゃ かげっ しゅわつうやく ぎょうむりょう へいきん つき ロ答者の1ヶ月の手話通訳の業務量の平均は、月に4.8時間となっている。

#### 

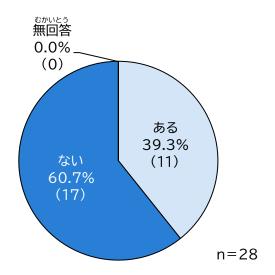
# tlusi luphojやく いらい う tlusi luphojやく いらい う tlusi luphojやく がらい ちゅう tlusi luphojやく がらい う tlusi luphojやく がらい ちゅう tlusi luphojやく がらい ちゅう tlusi luphojやく がらい ちゅう tlusi luphojやく には luphojやく lu

問3 ボランティア (無償) で手話通訳を頼まれることはありますか。

#### けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

しゅゎっぅゃくしゃ ぼらんてぃぁ いらい 手話通訳者でボランティアを依頼されたことが「ある」方は、39.3 %

ずひょう 30 無償で手話通訳の依頼の有無(単数回答)



## (4) 依頼された内容

問るで「ある」と答えた方に質問です。

でいった。 でしっか ていど いらい ないよう まし 間4 差支えない程度で、依頼された内容を教えてください。

- 電話。
- 電話での問い合わせ(たまたま一緒にいる時、知人としてやります)。
- ●電話通訳。
- でんわつうやく **電話通訳。**
- 電話での通訳など。
- **街なかで電話通訳**。
- 電話で病院予約、時間変更。
- 年に 1度か 2度、電話通訳をお願いされた事がある。
- 聞こえない人とプライベートで会った時にもあります。
- 聞こえない方との活動中は手話サークル貸として。
- 買物。
- す ば ぼいんとか と っく スーパーでポイントカードを作りたいので一緒にと。
- 大会の開会式等には通訳が派遣されているが、それ以外の移動時やホテルでの中では通訳はいないので。
- PC教室。
- がくしゅうかい学習会。
- 研修旅行。
- 趣味のグループで研修旅行に行く事があるが、その中でろう者のチームが参加しているので(私 はその一員)通訳をたのまれる。
- 手話サークルに所属しているので、その中でいろいろな企画の時に通訳の経験はあります。
- 小口貸付の通訳。
- 職場の窓口対応・助成金申請。
- ◆ 人間関係相談の通訳。
- 相談支援の通訳。
- 駅員に聞きたいことがあるのでと。
- 団地の説明会。

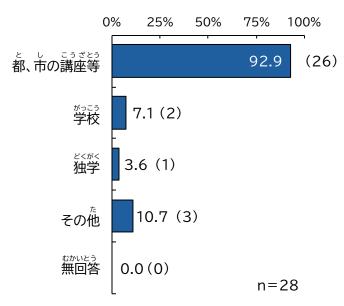
#### だい しょう ちょうさけっか しゅわつうやくしゃむ あんけっと第2章 調査結果〔3.手話通訳者向けアンケート〕

# (5) 手話を学んだ方法

に 問5 どのように手話を学びましたか。(該当するものを全て○で囲んでください)

けっか 結果の ぽぃんと ポイント

図表 31 手話を学んだ方法(複数回答)



手話を学んだ方法について聞いたところ、「都、市の講座等」92.9 % が最も高く、次いで「その他」10.7 %、「学校」7.1 %、「独学」3.6 % となっている。

## [その他の内容]

- 民間の手話教室。
- 民間の講座。
- 東通研。支部講座。手話フレンズ。

### (6) 手話で会話するときに困ること

#### 問6 手話で会話するときに困ることはありますか。(自由記載)

たましょう きくしゃ しゅ か い か しゅ か い か とき 手話通訳者に、手話で会話するときに困ることを 伺ったところ、18件の回答をいただいた。

- 相手の読み取りが出来ない時。
- お互いの手話が通じない時、困る。
- 相手に伝わらない時。
- 相手のろう者の手話が読み取れない。
- ろう者の手話が読めない、わからない時がある。
- 言いたい事がキチンと伝わらなかった時、対象者の手話が読めなかった時。
- こちらの技量不足で、表出が読み取ってもらえない時や、余り接触が少ないろう者とは読み取りがスムーズでない時がある。
- 自分の手話技術が拙いため、ろう者の手話が読み取れない、またこちらの意思が伝わらないといったコミュニケーションエラーがある。
- 読み取りもなかなか難しく、特に会議の読み取りは大変です。手話表現も同じです。交流の場が 大切だと思います。
- 表現したことが聞こえない方に通じているか、読み取った内容が正しいのか、答え合わせができないことが多いので、もやもやした気持ちになること。家に帰ってから「あーそういうことだったのか」と思い出し、答えを見つけることも多いです。
- 聞こえない人1人ひとりの個性の違いが大きく、手話が読み取れないことがある。相手の年齢や 生育歴を知らないと通じる手話を表出できないときもある。
- 聞こえない方の背景がつかめない時や、慣れていない手話表現をされる場合は困る時がある。
- 人によって、話の展開の仕方にかなり差がある。手話で会話が出来るか手話が読めるかは、単純に手話単語を知っているか、手話の早さについていけるかだけではない。その辺りに、日々難しさを感じている。
- マスクを着用する場面が多い為(特に病院)伝わりづらかったり、伝わったのか不安に思うことがある。
- ろう者、健聴者問わずマスク。
- 初めて会う芳など、話されてる手話があまり分からないことがありました。使う手話は人それぞれなのでこういったことはあります。病院通訳ではマスクが必須なため表情や口の動きが見えにくくて分かりにくいなと思っていましたが、最近はだいぶ慣れました。
- 派遣担当者が好きな人だけ依頼する。本人も一番古い人とばかり組んで派遣に行く。空等ではないので技術は退化するばかり。聴覚障害者の集まるお店があればいつでも会話できて技術が退化しなくてすむ。初見では読みとれない。

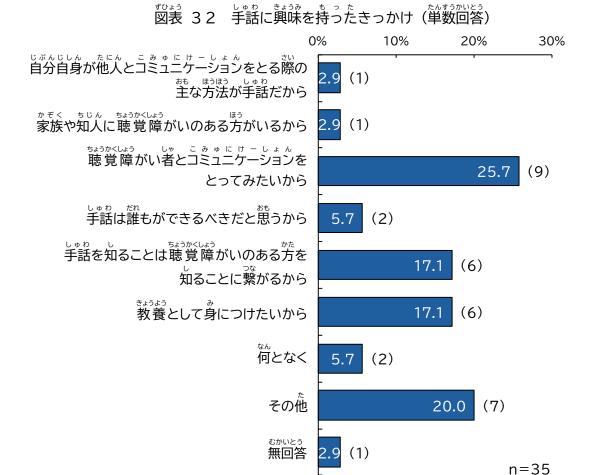
だい しょう ちょうさけっか しゅり く ろ - ぱ - かいいん む 第2章 調査結果〔4.手話サークル「クローバー」会員向けアンケート〕

# 4. 手話サークル「クローバー」会員向けアンケート

- (1) 手話に興味を持ったきっかけ
  - とい 間1 あなたが手話に興味を持ったきっかけは何ですか。

(該当するものを1つ○で囲んでください)

けっか **結果の** ぽぃんと ポイント 手話に興味を持ったきっかけは、「聴覚障がい者とコミュニケーションをとってみたい」方が、25.7%で最も高い



手話に興味を持ったきっかけについて聞いたところ、「聴覚障がい者とコミュニケーションをとってみたいから」25.7 % が最も高く、次いで「その他」20.0 % 、「手話を知ることは聴覚障がいのあった。 る方を知ることに繋がるから」「教養として身につけたいから」がともに 17.1 % の順となっている。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわ く ろ ー ぱ ー かいいん む 第2章 調査結果〔4.手話サークル「クローバー」会員向けアンケート〕

## 〔その他の内容〕

- 聴覚障害者がいる職場で働いていたから。
- 仕事で携わり興味を持った。
- 仕事でも生かせるから。
- 手話への理解を深め、いつか社会に役立ちたいから。
- 災害等の時、少しでもお手伝いが出来たら。
- 講演会に参加した時、手話通訳の方がいて初めて手話を知り興味を持ちました。
- 講習会が無料で開かれていたので学んでみようと思った。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅゎ く ゔ ‐ ば ‐ かいいん む 第2章 調査結果〔4.手話サークル「クローバー」会員向けアンケート〕

# (2) 手話の習熟度の程度

問2 あなたの手話の習熟度はどの程度ですか。(該当するものを1つ○で囲んでください)

けっか 結果の ぽぃんと ポイント

0% 40% 20% 60% まいさつ じこしょうかいとう かんたん しゅわ ていど 挨拶や自己紹介等の簡単な手話ができる程度 28.6 (10)かんたん にちじょうかいわ ていど 簡単な日常会話ができる程度 57.1 (20)す む - ず にちじょうかいわ ていど スムーズに日常会話ができる程度 14.3 (5) にちじょうかいわ 日常会話にとどまらず、 0.0(0)何でも手話で意思疎通が可能 無回答 0.0(0)

ずひょう しゅわ しゅうじゅくど ていど たんすうかいとう 図表 33 手話の習熟度の程度(単数回答)

手話の習熟度の程度を聞いたところ、「簡単な日常会話ができる程度」57.1 % が最も高く、次いで「挨拶や自己紹介等の簡単な手話ができる程度」28.6 %、「スムーズに日常会話ができる程度」14.3 % となっている。

n = 35

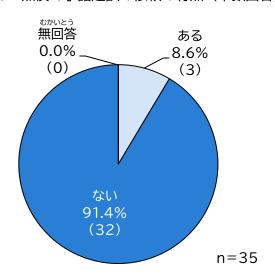
### (3) 無償で手話通訳の依頼の有無

問3 ボランティア (無償) で手話通訳を頼まれることはありますか。

けっか **結果の** ぽぃんと ポイント

\*\* - < るかいいん ぼらんていま いらい サークル会員でボランティアを依頼されたことが「ある」方は、8.6 %

ずひょう 3.4 無償で手話通訳の依頼の有無(単数回答)



無償で手話通訳の依頼の有無について聞いたところ、「ある」は 8.6 % 、「ない」は 91.4 % となっている。

#### (4) 依頼された内容

問4 問3であると答えた方に質問です。差支えない程度で、依頼された内容を教えてく ださい。(自由記載)

- 忘れものの問い合わせの電話通訳。
- 宅配の荷物が届かないので電話で問い合わせをした。

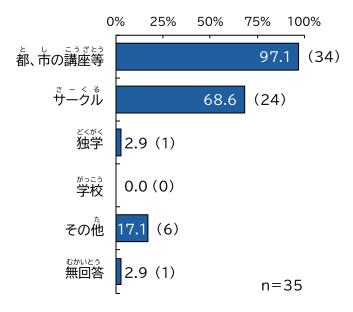
だい しょう ちょうさけっか しゅわ く ろ - ぱ - かいいん む 第2章 調査結果〔4.手話サークル「クローバー」会員向けアンケート〕

## (5) 手話を学んだ方法

しゅわまな 問5 どのように手話を学びましたか。(該当するものを全て○で囲んでください)

けっか 結果の ぽぃんと ポイント サークル会員が手話を学んだ方法は、「都、市の講座等」97.1 % が最も高く、 次いで「サークル」68.6 %

図表 35 手話を学んだ方法 (複数回答)



手話を学んだ方法について聞いたところ、「都、市の講座等」97.1 % が最も高く、次いで 「サークル」68.6 % 、「その他」17.1 % 「独学」2.9 % となっている。

### [その他の内容]

- TV、みんなの手話。
- TV
- 手話検定過去問、NHK手話ニュース、YouTube。
- 有料の講習会。
- 仕事している時、区の講座、スマホ。
- 職場。

### (6) 手話で会話するときに困ること

#### 問6 手話で会話するときに困ることはありますか。(自由記載)

さーくるかいいん しゅわ かいわ こま うかが けん いけん サークル会員に、手話で会話するときに困ることを伺ったところ、22件のご意見をいただいた。

- 自身がまだ未熟なので、読み取りができない時がある。
- 手話が読み取れない。
- 会話の中に指文字や数字、地名が出てくるとすぐには読みとれないこと。
- 相手の手話のよみ取りの能力不足でスムーズに会話出来ない。
- 指文字や手話表現を読み取るのが下手で理解するのに苦労します。
- 手話が分からない時に困って指文字又は筆談にします。
- 早さについて行けない。(聴覚障がい者の)読み取りも、自分の手話表現も追い付かない。
- ろう者の手話が習ってきたものと違ったり、速かったりして読み取れないことが多い。
- ろう者が使う手話が早くて読み取れない。単語が少しはわかるが全体の話がつかめないことがある。
- ろうの方々は、日常に、手話の会話をされているので、スピードに、ついて行けないときがあります。
- まだ初級レベルなので、ろう者のスピードのある手話について行けない。
- 学んだ手話とろう者の実際の手話と違う時があるので、会話がスムーズにできるようになるのには かなり時間がかかると思う。
- ろう者との手話で会話する経験が乏しいので、サークルという限られた場所でも緊張してしまうこと。
- まだまだ初心者の為、サークルでろう者の方を前に緊張してしまい、講座等で学んだ手話を発揮できない。ろうの方の手話のスピードが速く読み取ることが難しい。
- 手荷物を離せない時でも会話できるよう、顔表情と組み合わせた片手の手話も必要かなと思って います。
- 日本語対応手話でなく、日本手話で会話するときの手話独自の文法、表情など奥行が深い。手話を使う会話の場面が少ない。
- 荷物があると手話ができない。正面から見ないと読み取れない。手話だけで理解できないことが 多く、筆談できるような補助的なもの(スマホ合め)が必要になってしまう。
- 同じ言葉でも、置かれた環境やニュアンスの違いで多様な手話表現があり、ろう者の方々のご意見では 10年もすると変化する表現もあるとのことで、習う以上に慣れが必要と感じています。家では手話が使えないため、NHKの手話番組を見ていますが、放送の一方通行性で、ほんとの会話にはなっていません。多摩市の主催でZoomやONLINE・Messenger等を使って、在宅で手話会話ができたらと思います。また全日本ろうあ連盟の辞書は分厚過ぎて、携行できません。ペーパバック型の辞書を健幸都市多摩市が率先して企画するのは如何でしょうか。
- 定期的に受講しても次週忘れてしまうことが多い。少しはテレビ等で目で勉強はするが。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわ くる ー ぱ ー かいいん む 第2章 調査結果〔4.手話サークル「クローバー」会員向けアンケート〕

- まだまだ学びが足りないので困るというよりはもっと会話できる機会が欲しい。 他市では「手話カ ● 私は耳に不自由があり、手話を覚えるのに時間がかかりますが、手話を覚えて聞こえない人達の
- また。 手助けが出来るようサークルに入って学んでいます。

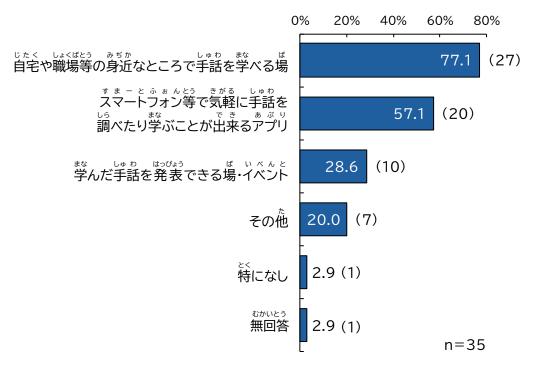
### (7) 手話に関してあればいいと思うもの

問7 次のうち、手話に関してあればいいと思うものを全て選んでください。

(該当するものを全て〇で囲んでください)

けっか 結果の ぽぃんと ポイント 「自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場」があるといいと思うサークル会員が 77.1 % いる

図表 36 手話に関してあればいいと思うもの(複数回答)



手話に関してあればいいと思うものについて聞いたところ、「自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場」77.1 % が最も高く、次いで「スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリ」57.1 % 、「学んだ手話を発表できる場・イベント」28.6 % 、「その他」20.0 % となっている。

#### だい しょう ちょうさけっか しゅり く ろ - ば - かいいん む 第2章 調査結果〔4.手話サークル「クローバー」会員向けアンケート〕

## [その他の内容]

- ろう者(手話を母語とする人)の友達。
- ろう者の方と交流できる場。
- サークル以外にろう者と交流できる場所。
- 子ども達には手話歌等、身近に感じられるものを取り入れる事も大事だと思います。
- 市内の全ての小学校の児童に手話や聞こえない人の生活について学んで欲しい。
- 全国手話検定試験「多摩会場」(受験者の居住地は問わない)、市内で受けられるようにする。 ※今回新宿会場は満員で息苦しかったです。
- Zoomを用いたオンライン多摩市手話塾・手話同好会。

#### しゅわげんごじょうれい も こ ないよう いけん 5. 手話言語条例に盛り込む内容についての意見

を集まり、関いているといわけんごじょうれい。ものであり込む内容についてご意見があれば記載してください。 多摩市が制定する手話言語条例に盛り込む内容についてご意見があれば記載してください。 (自由記載)【利用者 問13、手話通訳者 問7、手話サークル会員 問8】

多摩市が制定する手話言語条例に盛り込む内容について伺ったところ、47件のご意見をいただいた。文末の【 】内は、調査対象者を記載している。

## (1) 手話言語条例の意義について(6件)

- 条例を掲げるだけでなく、そのあとのことや多摩市の登録通訳者の育成や認知度を高める必要があるかと思います。【利用者】
- 条例が制定されることで、実際に多摩市や社会がどう変わることを自指しているのかを記載してほしい。理念は各個と言っても、ある程度、具体的なイメージがわかなければ、 ではないなからしたっては自分には関係ないことと感じられてしまうばかりか、聴覚障害者だけに特化・優遇したものだと思われかねない。【通訳者】
- 何故、市が手話言語条例を制定する必要があるのかを市民全員に知ってもらうことが一番大切です。聞こえない人と全くふれあうことなく生活している人には「税金のムダ」ととられてしまう心配もあり。【通訳者】
- 条例そのものを知らない人も多いのでは。方法を問わず広くアピールするのが良いのではと思います。【サークル会員】

### (2) 激励(5件)

- 多摩市手話言語条例賛成。【利用者】
- はい、必要です。【利用者】
- はい、必要ですから、早めに進んで下さいますよう、よろしくお願いします。【利用者】
- 早首に条例を成立して下さい。【利用者】
- 早目に成立して下さい。【利用者】

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわげんごじょうれい も こ ないよう いけん 第2章 調査結果〔5.手話言語条例に盛り込む内容についての意見〕

## (3) 手話の普及について (5件)

- 東京オリンピックのTV画面に出た手話通訳者のお陰で、簡単でも手話表現する店員さんが増えたような気がします。多摩テレビで取扱いとかはどうかな?と思います。【利用者】
- 手話に対する偏見をなくすよう努力すること。自分が小さいときは偏見が強く、繋ぶことに抵抗が あった。【利用者】
- 手話は言語、言語の 5 つの権利(言語を獲得する、言語で学ぶ、言語を学ぶ、言語を使う、言語を 守る)。手話言語の普及と環境の整備。【通訳者】
- 手話が言語であることは世界でも認められ、日本でもその理解が広がりつつあります。 聞こえる人 達が日本語の音声語で学び様々な情報を得て暮らしているように、ろう者は手話で学び生活の あらゆる場面で手話を使って暮らせる社会をと願っています。【サークル会員】
- 手話を障害者当事者だけでなく、誰でもいつでもどこでも使って会話出来るような環境を作ること。 【サークル会員】

### (4) 聴覚障がい者の意見の反映(5件)

- 聴覚障害者のみなさんの意見が充分に反映された条例になることを望みます。【通訳者】
- 聴者側からの押し付けではなく、手話話者が本当に必要としている内容をきちんとピアリングした 上で盛り込んでほしい。それには手話言語条例制定の目的、また制定後に何が変わるのかなどを、 もっと具体的に示してほしい。【通訳者】
- 手話を言語とする方や、手話通訳者の方々のご意見が反映されていること。【サークル会員】
- ろう者の方の意見が尊重される内容が良いと思います。【サークル会員】
- 難しいこともあると思いますが、ろうの方との対話をうざらけていってほしいと思います。 養く続けていけば、できなかったことができるようになったり、必要だったものが不要になったりしていくのだと思いますので。【サークル会員】

### (5) サービスの充実 (4件)

- 補聴器をもっと安く買えるようにしてほしい。すごく高いから買えない人もいると思います。電池も すぐなくなるから安く買えるようにしてほしい。【利用者】
- 多摩市に住んで 3年目ですが、あまりないです。音声認識アプリやメモパッドの用意がない。 自治体に対して、障がい者のアピールが足りないでしょうか。広まっていかないといけない。 【利用者】
- 公共建物や交通機関で英語、韓国語、中国語での表示があるが、手話表現でも聴覚障害者が分 はまずる。 はまきょくでは、こうつうきかん。 まいこ、かんこくで、ちゅうごくこ 公共建物や交通機関で英語、韓国語、中国語での表示があるが、手話表現でも聴覚障害者が分 かる方法を積極的に導入すること。【サークル会員】

# (6) 学校教育における手話の普及(4件)

- 教育についても盛り込まれると良い。市内全小学校の総合的学習等で、手話に触れる機会をつくる等。【通訳者】
- この先手話を普及させるためには、今の子どもたちに積極的に手話を学ぶ環境を作るようにして ない。多摩市で暮らすろう者(老若男女)に協力してもらう必要がある。【通訳者】
- 小学校の授業にも手話の授業が組み込まれるように。【通訳者】
- 小学校のひとときの和や総合的学習以外の時間で、小1~6 まで手話に関われる時間を作って欲しい。【通訳者】

## (7) 手話を学ぶ機会について (4件)

- 手話講習会の生徒を制限なく受けられる環境整備をしてほしい。【利用者】
- 子どもたち、地域の方々も学ぶことができる環境を盛り込んでいただきたいと思います。【サークル 会員】
- お店の店員さんが一人でも少しでいいので、手話で会話ができるような環境になるように、講習会など開催されるようになると良いと思います。 【サークル会員】
- 手話を身近に感じられるような取り組み。地域や学校でミニ手話教室のような簡単な手話を学べるチャンスが欲しい。鳥取の取り組みなどを参考に。【サークル会員】

#### (8) わかりやすい条例の策定(2件)

- 盛り込む内容は、競協理事だけが理解している内容ではなく、全ての聞こえない人が理解できる 内容(文章の書き芳等)を工夫して資きたい。そして案例制定したから終わりではなく、それから つなげていけるような内容を希望します。難しいことばかり並べるのではなく、身近な事を取り入 れてわかりやすく作って欲しい。【通訳者】
- 国で定める法律に比べ、一般市民の理解が不可欠なので、分かりやすい条例を自指してほしい。 【サークル会員】

# がっこうきょういく しょうがい りかい そくしん けん (9) 学校教育における障害の理解の促進(2件)

- 小学校で聞こえない人の言語である手話や聞こえない人たちが多摩市でも生活しているなどを リカい 
  理解する時間を定期的に作って欲しい。【通訳者】

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわげんごじょうれい も こ ないよう いけん 第2章 調査結果〔5.手話言語条例に盛り込む内容についての意見〕

#### しゅりつうゃくしゃ かんきょうせいび けん (10) 手話通訳者の環 境整備(2件)

- しゅわげんごじょうれいさくてい 手話言語条例策定にあたっての希望は、手話通訳者派遣要項などといった既存の自治体規則の ゅなお 見直しもできるような実効性のあるものにしてほしい。具体的には、手話通訳者の交通費の支払 い方法、その根拠とされている手話通訳の支援を受ける対象の考え方に課題を感じています。市 が、 っうゃくげんば しゃゎっぅゃくしゃ こぅっぅʊ 外での通訳現場での手話通訳者の交通費について、現状は①聴覚障害者が通訳者の交通費を ゃくしゃ か りょうしゅうしょ ていしゅつ っうゃくしゃ しょら きんがくぶん ほじょ う 訳者に書いてもらった領収書を提出して通訳者に支払った金額分の補助を受けるという流れに こんねんど たまし つうやくしゃ かい こんだんかい つうやくしゃじしん こうつうひ しゅら なっています。今年度の多摩市と通訳者の会との懇談会では、通訳者自身で交通費を支払い、 こじった。まし、つうさくしゃ、ほじょ。。 後日多摩市から通訳者が補助を受ける方法も示されましたが、その場合でも聴覚障害者の押印 が必要で、手術などの通訳場面では押印がもらえないケースがあると通訳者から声がありました。 ゃくしゃじしん せいさん 訳者自身が精算することはできないのか質問しました。しかし、市の担当者からは「聴覚障害者 じしん。しぇん。 自身の支援にかかる費用への助成であるため」「支援を受ける主体の聴覚障害者が通訳者に こうつうひ、せいきゅうけん、いじょう かんけい とうじしゃ おういん ひっす ちょうかくしょうがいしゃ じぶんじしん しぇん 交通費の請求権を移譲する関係で、当事者の押印は必須「聴覚障害者が自分自身への支援に かかる費用を負担するという仕組みの根幹は変えられない」という回答がありました。このような たんとうしゃ にんしき しょうがいと じしん しんしん しょうがい ひっよう しぇん ぶたん ま けいざいてき しゃかい 担当者の認識は、障害者が自身の心身の障害について必要な支援の負担を負い、経済的・社会 <sup>しぇん</sup> 支援をする、その支援実務の一つが手話通訳であり、手話通訳者の報酬や交通費はその経費で ある、という障害の社会モデルの考え方が必要ではないでしょうか。現在、聴覚障害者に対する っうゃくしゃ こうっう ひほじょ おこな ざいげん かくほ こうっうひしょう かかっ じ む おこな 通訳者の交通費補助は行っているので、財源は確保され交通費支払いに係る事務も行ってい ることから、市の考え方さえ変えれば、精算する人が聴覚障害者から通訳者になるだけで、 っぅゃくげんぱ こぅっぅ ヮ 通訳現場の交通費はなし、もしありとすれば基本報酬自体が下がるかもと言われていますが、こち らも手話通訳者の待遇改善(それを行わなれければ手話通訳者は増えないためです)のためには、 ょっぴ しきゅう 実費で支給してほしいところです。 交通費精算事務が負担というお話がありましたが、DX 化や ぁぅとぇ‐しんぐぇ‐ヷょヮゕっょぅ アウトソーシングサービスを活用すれば解決するのではないかと思います。【通訳者】
- 手話を学ぶ場、機会を確保してほしい。手話講習会などに通うことを仕事の一環と考えてほしい。 「通訳者」

# (11) 人権について(2件)

- 聴覚障害者の人権を守り、差別のない社会になること。【サークル会員】
- ろう者の人権。【サークル会員】

#### とうきょうと しゅわげんごじょうれい さんこう (12) 東京都の手話言語条例を参考について(2件)

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわげんごじょうれい も こ ないよう いけん 第2章 調査結果〔5.手話言語条例に盛り込む内容についての意見〕

● 東京都の手話言語条例を参考にしていただけたらと思います。大切なことがまとまっていると思います。【通訳者】

# (13) 防災の情報提供(1件)

## (14) その他 (3件)

- 私はろう者ですので、身振りと顔の動かし、手話(ジェスチャーという型)が一番大切な通じる方法。 【利用者】
- 手話ができる人と確認できる目印があったら便利かもしれません。【利用者】
- 私の手話を使う癖で、手話通訳者の人が手話をわからないこともありました。【利用者】

# 6. 手話に関する施策についての意見

その他(手話に関する施策についてご意見があれば記載してください)(自由記載)【利用者 問14、手話通訳者 問8、手話サークル会員 問9】

手話に関する施策について何ったところ、63件のご意見をいただいた。文末の【 】内は、調査 ないしょうしゃ ままい 対象者を記載している。

### (1) 手話の普及について (13件)

- がんばって日本手話を覚えてほしい。【利用者】
- 市役所職員と議会議員にも、手話を学んで身につけて下さい。【利用者】
- 市役所職員共に手話をおぼえてほしい!【利用者】
- 日頃ガイドヘルパーさんと外出することもありますが、ヘルパーさん不足とその中でも手話のできるヘルパーさんがいるとありがたいと思っています。【利用者】
- 普及がほしい。【利用者】
- 例えば今後、たま広報に簡単な手話単語を紹介するシリーズを掲載するとか、手話という言語についてわかりやすく説明する記事を載せるとか、公式YouTube で簡単手話講座を発信するなど、今からでも市民向けのPRをしてはどうか。あるいは、条例制定後でもいい。とにかく、作りっぱなしではだめ。【通訳者】
- 広報等を活用し継続的に「手話」をアピールできたら良い。「今月の手話」とか…。特に若い世代の かたがた ひろ 方々に広まってほしいと感じています。【通訳者】
- 誤解を招くといけないのですが、手話はろう者のみならず有効な伝達手段だと思います。自分が高齢もしくは病気で聞こえづらくなった時、手話が使えたら絶望する事はないし、手話で手と身振り、脳を使うことは身体と脳に良いと思っています。手話は英語、プランス語などと同じ(…と言うと手話の歴史やろう者が置かれてきた境遇をとび越してしまうようですが…)一つの言語として、小さい子からお年寄りまで誰でも学べる、いつでも学べるような環境が整うと良いなと思います。手話は特別なものではない、そこら辺にありふれている、普通に存在している、そんな多摩市だったら素敵だと思います。【サークル会員】
- 手話=言語であることをもっと市民が理解し、気軽に手話に接する機会を増やしてほしい。手話へのさらなる理解が進んでほしい。【サークル会員】
- 手話はろう者以外にも通常のききとりに困難が生じている人にも有効な言語だと態います。できたら小学校の頃から簡単な手話を身につけられたら「言語」としての役割が充分に発揮できると思います。現状では特別に興味のある人だけが知っている、学んでいることなので。【サークル会員】
- 各店舗、交通機関等に必ず手話の出来る人を置いたら良いと思います。【サークル会員】
- 小さい時から手話を見せるというか教えるというか、手話が身につく様にしたらいいと考えました。 【サークル会員】
- 日本語対応手話でも使わないよりはいいが、聴覚障害者が使う日本手話をなるべく普及させてほしい。単語でも片言の手話でも最初は導入し、一般の人に興味を持ってもらうように「夏休み手話教室」「小学校での特別体験教室」のようなもの、中学、高校、大学でも講義がもっとあるといいと

また。とく、まい 思う。特に小さいうちから興味をもってもらうと覚えが早い。【サークル会員】

#### い し そつうしえん じゅうじつ けん (2) 意思疎通支援の充実 (9件)

- 文字起こし機能があれば、いつどこでも言葉を知ることができるので、あらゆる場所で機械アプリ でできるようにすればとても助かります。【利用者】
- 役所や社協・公民館など多くの人が常に訪れる窓口での手話通訳設置(月数回でも可)。【通訳者】
- 手話通訳依頼方法を手話動画化し登録継続し忘れや転入者への案内とする。【通訳者】
- 対面派遣できない時のタブレット遠隔手話通訳。【通訳者】
- 多摩市内の様々な講演会、行事等に手話通訳が付くようになり、聴覚障害者も自由に参加できるようになり良いと思う。【通訳者】
- 以前、多摩市差別解消条例の制定にあたってのパブリックコメントで「意見を手話で提出できるようにするべき」という意見を出した。それに対し市のコメントは「広く市食・食力を受け付けられるように今後の募集方法を検討していきたい」だった。しかし、今回の言語条例に向けても、意思疎通支援事業利用者向けアンケートに手話での対応は無いとのこと。考え方が本当に理解されているのだろうか。手話を言語として認め、尊重するという条例を制定するということは、今後、あらゆる場面で当事者の声を聞くということであり、そのためにはどうすべきなのか、もっと真剣に考えてほしい。【通訳者】
- 市などに手話通訳者の設置。【通訳者】
- 広報などに手話(指文字のイラスト)などが入ると、理解を進めていくことにもなるのでは。 【サークル会員】
- 手話通訳の育成に力を入れて、派遣についてわかりやすくしてほしい。【サークル会員】

## (3) 学校教育について(8件)

- 小・中・高校でホームルームの時とか、少しでもあいさつの手話ぐらいの手話をおぼえさせてもらいたいです。【利用者】
- 小・中学校の授業でろう者自身が参加する普及活動。ろう児の学習、交流の場。【通訳者】
- 小・中学校で一週間に一回でもいいので手話を学ぶ時間や、ろう者との交流の時間を作ってほしい。 「通訳者」
- 「総合的学習」の様に一時的なものではなく、継続的な手話学習の機会を設け児童や学生達がより手話に親しめる環境づくりを行なって頂きたいです。【通訳者】
- 小学校からろう者への理解と手話言語を学ぶ機会。【通訳者】
- 手話言語を小・中・高校等で第2外国語として採用する場合、手話を教えられる教師が不足して たまし、しゅわこうしゅうかい かいさいほうほう けんとう さーくるかいいん いる。多摩市の手話講習会の開催方法を検討すべき。【サークル会員】
- ろう学校と他の小学校の交流イベント、スポーツを主体にした物があるとより互いに理解が深まると思う。【サークル会員】
- ろう者・健常者の別なく意思疎通できる環境を整えるには、初等教育段階から手話を言語として 扱い、正規授業に取り入れていくべきと思います。手話には、発声・受聴のプロセスが無くても、 震災時など窓や障害物で声が届かないところでも会話できるので、ろう者・健常者の別なく、安全

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわ かん しさく いけん 第2章 調査結果〔6.手話に関する施策についての意見〕

対策としても有利です。【サークル会員】

## (4) 手話講習会について(8件)

- 手話講習会の講師はろう者にしてほしい。多摩市内のろう者、教える意欲があるので、他の市に頼む前に多摩市内を優先にしてほしい。【利用者】
- 手話講習会を充実していただければありがたいです。【利用者】
- 手話講習会の対象が健聴者向けなので、中途失聴・難聴者にも対応してほしい。【利用者】
- 多摩市はきこえない人の手話が学べなかったので、通訳をめざす人達の中では手話を学ぶのが 大変だった。迷惑だった様でじゃまだと言われ、ずっと心に残っている。【利用者】
- 手話講習会を終了したあとも、継続的に、手話が、勉強できるところを、サークル以外にも、市として、設定をしていただくと、有り難いです。【サークル会員】
- 誰でもいつでも学ぶ機会があれば助かります。例えば小・中学校の授業でやり、保護者や地域・ 市民だれでも受けられる授業なら受講しやすいと思います。【サークル会員】
- 毎週講習会に通うのは大変ですが、少しだけ通じる楽しさがわかってきたので、続けられそうと また。 思ってきました。多くの人々に少しでも手話という言語を知ってもらいたいと思う。【サークル会員】
- 今は手話への関心がとても高くなっている世の中だと感じます。関心が低くなっても行政としての 取り組みは同じように力を入れていって欲しいです。手話講習会はとてもよい取り組みで、私も 勉強させていただきました。やっぱりこれも見直しながら長く続けてほしいです。【サークル会員】

### (5) 共生社会の推進(5件)

- 手話通訳者に対して、身振りと顔の動作が大事です。学ぶの方にも一番大切なので、協力してやりたいと思います。【利用者】
- 健聴者だけで進めるのではなく、当事者であるろう者・難聴者の意見も取り入れて下さい。 「利用者」
- まず市の職員がろう者や手話に関して正しく理解し知識を深めて欲しい。そうでないと市民に同じ ことを求めるのは難しいと思う。【通訳者】
- 市民参加型の委員会や協議会(e x まち美化とか青少年健全育成~とか)にろうの方にも(もっと言えば視覚障害、肢体不自由など)入ってもらうことは必要なのでは…と思っています。

  「さっと言えば視覚しているというとは必要なのでは…と思っています。」
  「サークル会員】

## (6) 手話言語条例について(4件)

- 「手話言語条例」とは何なのか、広く市民への周知を。【通訳者】
- 条例制定が一般で食の乾帳の外で進められないようにしてほしい。制定ありきで、日付を逆算するかのように拙速に進めているように感じられる。多摩市として全庁的な理解、市民の理解、養業等の理解が無ければ、条例ができてもお飾りになる(そんな条例が今までにもある)。【通訳者】

- 言語条例が手話関係者だけでなく市民に広く周知されれば良いと思う。【通訳者】
- 手話を言語として位置づけ、手話での意思疎通を日常的にできる社会をめざすのが、手話言語 とようれい ひつよう まー くるかいん 条例で必要である。【サークル会員】

# (7) 交流について (3件)

- 手話を通して交流をする場を駅の近くにして欲しい。【利用者】
- 毎年1回、福祉課と通訳者の懇談会が実施されているが、加えて聴覚障害者との懇談会も開かれることを希望します。【通訳者】

# (8) 災害時の支援について(3件)

- 火災訓練では社協が参加したのですが、手話通訳が付いていなくて残念に思った。【利用者】
- 災害時の情報保障。【通訳者】
- 何か災害があった時、避難所でもろう者に情報が遅れることなく伝わるように、支援方法を具体的に示せるものを準備しておく。(避難所ですごす人達が協力しあえるように)【サークル会員】

# (9) 障害の理解について(3件)

- 市役所の障害福祉課で働くみなさんにろう者についてもっと知ってほしい。【利用者】
- 手話を身につけていただくことも良いですが、まずはろう者の文化、生活様式などを知っていただきたいです。(言語習得+文化知識取り入れ)多摩市が、ろう者にとって住みやすく、ひいては誰にとっても住みやすいまちとなることを期待しています。【利用者】
- 手話のみならず、障害者に関することを障害福祉課だけに押し付けるのではなく、全庁が一丸となって進めてもらいたい。 はいよりがいきがいますが、ですることを障害福祉課だけに押し付けるのではなく、全庁が一丸となって進めてもらいたい。 なって進めてもらいたい。 に対したがいときないというとうというで行うものや職員が手話講習会を受講するなどだけでなく、多摩市聴覚障害者協会主催の講演会等に参加するなどで理解が進むと思う。【通訳者】

## で ふ り ん ぴ っ く ちょうかくしょう しゃ こくさい す ぽ ー っきょうぎたいかい けん (10) デフリンピック (聴覚障がい者の国際スポーツ競技大会)について (2件)

- 2025年デフリンピック東京開催で、多摩市にも情報提供が必要です。あと 3年なのでとらないと がいこく ア・ボール ひと 外国からデフの人がたくさんくると思われます。【利用者】
- 長年の海外勤務で、欧米初め、アジア等でも手話言語数が 130 を超え、「お早う」「あなた」など ひょうげんほうほう たょう たょう かくぜん でょうりん びっく そな こくざいしゅう ぶきゅうたいさく たいせつ おも 大切と思います。 まっくる かいいん まっく るかいいん 「サークル会員】

#### だい しょう ちょうさけっか しゅわ かん しさく いけん 第2章 調査結果〔6.手話に関する施策についての意見〕

# (11) 激励(2件)

- ぜひ進めて頂きたいです。よろしくお願いいたします。【利用者】
- 他の都市に負けない施策を目指してほしい。【サークル会員】

# (12) 交通費の支払い方法について(2件)

- 交通費の支払い方法について毎年のように話し合いが行われており、なかなか折り合いがつかない事項だと感じています。以前私が手話通訳をしていた埼玉県のとある市では、交通費は通訳者が報告書に記載し、謝礼と合わせて支払われていたので、多摩市に引っ越してきてからの支払い方法に驚いています。「単で通訳現場へ行った場合はガジリン代もいただけました。事務的手続きなど難しい面はあると思いますが、皆が納得出来る所に落ち着くといいなと思っています。【通訳者】
- 市外通訳時の交通費を、ろう者から現金で受理するのをやめてほしい。【通訳者】

### (13) その他 (1件)

● ろう者も高齢化が進んでいるが、「介護保険」、等の利用についてご存知ない方が多く、介護予防も 含めて市側からアプローチして資きたいです。【通訳者】 だい しょう ちょうさひょう 第3章 調査票

# 1. 市民向けアンケート

#### (仮称) 多摩市手話言語条例に関する市民向けアンケート調査

あてはまるものの回答欄へ○を書いてください。

1 あなたは手話というコミュニケーションを知っていますか。

		回答
1	知っている	
2	知らなかった	

2 あなたは手話が言語であることを知っていますか。

		回答
1	知っている	
2	知らなかった	

3 あなたは手話にも方言があることを知っていますか。

		回答
1	知っている	
2	知らなかった	
3	質問文の意味が分からない	

4 あなたは手話が万国共通ではなく、国によって違うことを知っていますか。

		回答
1	知っている	
2	知らなかった	
3	質問文の意味が分からない	

5 あなたは手話が手の動きだけではなく、身体の向きや頭の動き、顔の表情によって、文法が作られていることを知っていますか。

		回答
1	知っている	
2	知らなかった	
3	質問文の意味が分からない	

6 あなたは手話について関心がありますか。

		回答	
1	非常に関心がある		問7へ
2	どちらかと言えば関心がある		問7へ
3	どちらとも言えない		
4	どちらかと言えば関心がない		問8へ
(5)	全く関心がない		問8へ

7 問6で「非常に関心がある」または「どちらかと言えば関心がある」と回答された方に質問です。 その理由として当てはまるものを次の中から全て選んでください。

		回答
1	自分自身が他人とコミュニケーションをとる際の主な方法が手話だから	
2	家族や知人に聴覚障がいのある方がいるから	
3	聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとってみたいから	
4	手話は誰もができるべきだと思うから	
(5)	手話を知ることは聴覚障がいのある方を知ることに繋がるから	
6	教養として身につけたいから	
7	何となく	
8	その他	

問9へ

8 問6で「全く関心がない」または「どちらかと言えば関心がない」と回答された方に質問です。その理由として当てはまるものを次の中から全て選んでください。

		回答
1	使う機会がないから	
2	聴覚障がいのある方と接する機会がないから	
3	手話を知らなくても困らないから	
4	必要な人だけが使えばよいと思うから	
(5)	難しそうだから	
6	何となく	
7	その他	

9	あなたは、	これまでに聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとった、	またはとろうとした経
	験はありま	きすか。	

		回答	
1	ある		問10へ
2	ない		問11へ

10 問9で聴覚障がいのある方とコミュニケーションをとったことがあると回答した方に質問です。 どのようにコミュニケーションをとりましたか。

		回答
1	手話を使ってコミュニケーションをとった	
2	身振り手振りでコミュニケーションをとった	
3	筆談でコミュニケーションをとった	
4	電子機器やスマートフォンのアプリを使ってコミュニケーションをとった	

11 あなたは手話を学んだ経験がありますか。

		回答	
1	ある		問12へ
2	ない		問14へ

12 問11で「ある」を選んだ方に質問です。そのきっかけは何でしたか。ご自身の中で最も大きなきっかけになったものを選んでください。

		回答
1	自分自身のコミュニケーション手段が手話だから	
2	身近な人で手話によるコミュニケーションが必要な人がいるから	
3	自己啓発	
4	家族や友人に誘われて、または勧められて	
(5)	趣味や楽しみのため	
6	手話通訳関連の試験受験のため	
7	学校等で学ぶ機会があったため	
8	テレビや雑誌で見て興味がわいたため	
9	その他	

13 問11で「ある」を選んだ方に質問です。あなたの手話の習熟度はどのくらいですか。

		回答
1	挨拶や自己紹介等の簡単な手話ができる程度	
2	簡単な日常会話ができる程度	
3	スムーズに日常会話ができる程度	
4	日常会話にとどまらず、何でも手話で意思疎通が可能	
(5)	ほとんど何も覚えていない	

問16へ

14 問11で「ない」と回答された方に質問です。今後手話を学習する予定はありますか。

_			回答	
	1	ある		問16へ
	2	ない		問15へ

15 問14で「ない」と回答された方に質問です。その理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

		回答
1	学習する時間がない	
2	手話を使う機会がない	
3	難しそう	
4	興味・関心がない	
5	どこで学べばよいかわからない	
6	活動仲間がいない	
7	その他	

16 次のうち、手話に関してあればいいと思うものを全て選んでください。

		回答
1	自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場	
2	学んだ手話を発表できる場・イベント	
3	スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリ	
4	その他	
(5)	特になし	

17 多摩市では手話講習会を実施しています。知っていますか。

		回答	
1	知っている		問18へ
2	知らなかった		質問は 以上です

18 問17で「知っている」と回答された方に質問です。 どうやって手話講習会の存在を知りましたか。

		回答
1	たま広報	
2	ポスター・リーフレット・チラシ	
3	市のホームページ	
4	SNS	
5		
6	その他	

ご協力ありがとうございました。

### 2. 意思疎通支援事業利用者向けアンケート

#### (仮称)多摩市手話言語条例に関する 意思疎通支援事業利用者向けアンケート調査

問 1 .	聴覚に障がいがあるのはいつからですか。
1	出生時から
2	( ) 歳頃から
3	わからない

- 問 2. あなたは多摩市意思疎通支援事業のうち、手話通訳・要約筆記のどちらを主に利用 していますか。(該当するものを $1 \circ 0$ で囲んでください)
  - 1 手話通訳 → 間3へ進んでください
  - 2 要約筆記 → **問5**へ進んでください
  - 3 使っていない → 間9へ進んでください
- 問3. 問2で「手話通訳」と答えた方に質問です。 手話をどのように学びましたか。(該当するものを1つ○で囲んでください)
- 1 手話のテキスト、動画、その他を参考にした。
- 2 聞こえない家族や聞こえない友人から教わった
- 3 ろう学校で学んだ
- 4 その他( )
- 問4. 手話以外の会話(対面でお話しする場合)の方法を教えて下さい。 (一番利用するものを1つ○で囲んでください)
- 身ぶり手ぶり
   筆談・スマホやタブレット等の電子機器
   その他( )
   ※続いて**間**9へ進んでください

問 5. 問 2 で「要約筆記」と答え (該当するものを 1 つ○で囲	た方に質問です。手話はわかりますか。 目んでください)	
1 わかる → <b>問9</b> へ 2 大体わかる → <b>問9</b> へ 3 少しはわかる → <b>問9</b> へ 4 わからない → <b>問6</b> へ	進んでください 進んでください	
問 6. 問 5 で「わからない」と答 (該当するものを 1 つ○で囲	\$えた方に質問です。その理由を教えてくださ 目んでください)	い。
<ol> <li>学ぶ機会がなかった</li> <li>学ぶ意思がなかった</li> <li>その他(</li> </ol>		)
問7. これから手話を学ぶ機会が (該当するものを1つ〇で囲	ぶあれば手話の勉強をしたいと思いますか。 引んでください)	
1 はい → <b>問9</b> へ進んで 2 いいえ → <b>問8</b> へ進んで		
問8. 問7で「いいえ」と答えた	と方に質問です。その理由を教えてください。	
ください。	『子機器をお使いの方に質問です。 ような機能やアプリをお使いですか。わかる輩 メモ機能。音声を文字に変換するアプリ等。	色囲 で参

問10. 多摩市が実施している次の事業についてご存じですか。 (それぞれ該当するものを○で囲んでください)

1 多摩市手話通訳者派遣事業

知っている・知らない

2 多摩市要約筆記者派遣事業

知っている・知らない

3 多摩市聴覚・音声・言語障がい者電話ファクシミリ使用料助成制度

知っている・知らない

4 多摩市手話講習会

知っている・知らない

5 多摩市要約筆記講習会

知っている・知らない

- 問11. 社会生活の場面で、聴覚障がい者に対するコミュニケーション上の配慮(手話・筆談・字幕など音声以外のコミュニケーション対応)についてどのように感じますか。 (それぞれ該当するものを○で囲んでください)
  - 1 職場・学校等

満足・やや満足・どちらでもない・やや不満・不満

2 市役所等の行政機関

満足・やや満足・どちらでもない・やや不満・不満

3 病院や薬局・介護や障害の事業所等の医療・福祉関係機関

満足・やや満足・どちらでもない・やや不満・不満

4 バスや電車等の公共交通機関

満足・やや満足・どちらでもない・やや不満・不満

5 一般店舗(例:食料雑貨店、百貨店等)

満足・やや満足・どちらでもない・やや不満・不満

問12. 健聴者とのコミュニケーション上で感じること、配慮してほしいと思うことがあれば教えてください。

(該当するものを全て○で囲んでください)

- 1 ろう者を知ってほしい
- 2 手話を学んでほしい
- 3 筆談等を行ってほしい
- 4 その他(

)

問13. 多摩市が制定する手話言語条例に盛り込む内容についてご意見があれば記載してく ださい。(自由記載)
プリスター 間14.その他(手話に関する施策についてご意見があれば記載してください)
同14. でい他(手間に関する地界についてこ息光があればは記載してください)
ご協力ありがとうございました。
4

# 3. 手話通訳者向けアンケート

(仮称)多摩	市手話言語条例に関す	る手話通訳者向けアンケート調査	至
問1. 手話通訳歴はど		)年	
問2.1ヶ月にどの和 です)	程度、業務として手話通訳 ( )	さを行っていますか。(おおよその数字 時間/月	:で結構
問3. ボランティア(	無償)で手話通訳を頼まれ	れることはありますか。	
1 ある 2 ない			
問4. 問3で「ある」 ください。	と答えた方に質問です。	差支えない程度で、依頼された内容を	教えて
問 5. どのように手記	話を学びましたか。(該当~	するものを全て○で囲んでください)	
<ol> <li>独学</li> <li>学校</li> <li>都、市の講座等</li> <li>その他(</li> </ol>	Ş	)	
問6. 手話で会話する	るときに困ることはありま	ますか。(自由記載)	

問7. 多摩市が制定す ださい。(自由記	る手話言語条例に盛り込む 己載)	内容についてご意見があれ	<i>い</i> ば記載してく
問8.その他(手話に関	<b>すする施策についてご意見</b> が	あれば記載してください)	
		ご協力ありがとうこ	ございました。

## 4. 手話サークル「クローバー」会員向けアンケート

### (仮称) 多摩市手話言語条例に関する 多摩市手話サークル「クローバー」会員向けアンケート調査

- 問1 あなたが手話に興味を持ったきっかけは何ですか。 (該当するものを1つ○で囲んでください)
  - 1 自分自身が他人とコミュニケーションをとる際の主な方法が手話だから
  - 2 家族や知人に聴覚障がいのある方がいるから
  - 3 聴覚障がい者とコミュニケーションをとってみたいから
  - 4 手話は誰もができるべきだと思うから
  - 5 手話を知ることは聴覚障がいのある方を知ることに繋がるから
  - 6 教養として身につけたいから
  - 7 何となく
  - 8 その他(
- 問2 あなたの手話の習熟度はどの程度ですか。(該当するものを1つ○で囲んでください)
  - 1 挨拶や自己紹介等の簡単な手話ができる程度
  - 2 簡単な日常会話ができる程度
  - 3 スムーズに日常会話ができる程度
  - 4 日常会話にとどまらず、何でも手話で意思疎通が可能
- 問3 ボランティア (無償) で手話通訳を頼まれることはありますか。
  - 1 ある 2 ない
- 問4. 問3であると答えた方に質問です。

差支えない程度で、依頼された内容を教えてください。(自由記載)

<ul> <li>1 その他(</li> <li>1 日 6 . 手話で会話するときに困ることはありますか。(自由記載)</li> <li>1</li></ul>
問7. 次のうち、手話に関してあればいいと思うものを全て選んでくだ (該当するものを全て○で囲んでください)  1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場 2 学んだ手話を発表できる場・イベント 3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリ 4 その他(
<ul> <li>(該当するものを全て○で囲んでください)</li> <li>1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場</li> <li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li> <li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリインの他(</li> </ul>
<ul> <li>(該当するものを全て○で囲んでください)</li> <li>1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場</li> <li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li> <li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリインの他(</li> </ul>
<ul> <li>(該当するものを全て○で囲んでください)</li> <li>1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場</li> <li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li> <li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリインの他(</li> </ul>
<ul> <li>(該当するものを全て○で囲んでください)</li> <li>1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場</li> <li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li> <li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリインの他(</li> </ul>
<ul> <li>(該当するものを全て○で囲んでください)</li> <li>1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場</li> <li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li> <li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリインをの他(</li> </ul>
<ul><li>1 自宅や職場等の身近なところで手話を学べる場</li><li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li><li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリ</li><li>4 その他(</li></ul>
<ul><li>2 学んだ手話を発表できる場・イベント</li><li>3 スマートフォン等で気軽に手話を調べたり学ぶことが出来るアプリ</li><li>4 その他(</li></ul>
4 その他(
問8. 多摩市が制定する手話言語条例に盛り込む内容についてご意見が
ださい。(自由記載)
問9. その他(手話に関する施策についてご意見があれば自由に記載して

#### れいわ ねんど たまし 令和5年度 多摩市 しゅわげんごじょうれい かん あんけーとちょうさ ほうこくしょ 手話言語条例に関するアンケート調査 報告書

れいわ ねん がつ たまし 令和6年1月 多摩市